

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名			がん検診（本庁）		事業番号	
担当部署名			健康福祉 局 健康 部		健康推進 課	
			健康福祉 局		健康 部	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現		
		有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防					
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4		
		有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進					
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	健康さかい21（第2次）				
3	事業開始年度	昭和 58 年度		点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	健康増進法、堺市がん対策推進条例、堺市胃がん検診の実施に関する要綱、堺市肺がん検診の実施に関する要綱、堺市大腸がん検診の実施に関する要綱、堺市子宮がん検診の実施に関する要綱、堺市乳がん検診の実施に関する要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区（保健センター）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	胃：50歳以上偶数年齢の市民（約24.2万人） 肺：40歳以上の市民（約27.3万人） 大腸：40歳以上の市民（約27.3万人） 子宮：20歳以上偶数年齢の女性市民（約20.2万人） 乳：40歳以上偶数年齢の女性市（約16.8万人）			対象数	単位
			約306,000		人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	胃、肺、大腸、子宮、乳がんを早期に発見し治療に結びつけるため。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>検査内容</p> <p>胃：胃部エックス線または胃内視鏡検査</p> <p>肺：胸部エックス線検査、たんの検査</p> <p>大腸：便潜血検査</p> <p>子宮：視診、内診、子宮頸部の細胞診（問診項目等により必要な方には子宮体部細胞診も実施）</p> <p>乳：視触診、マンモグラフィ（40歳代の必要な方には超音波検査も実施）</p>				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。</p> <p>検診結果により、要精密検査になった方には精密検査を案内している。</p>				
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人堺市医師会ほか				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	受診率 ・目標値は職域受診含む(国の目標) ・実績値は本市検診の受診分のみ	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	50	50	50	50
			実績値	14	15		
達成率	28%	30%					
当該指標を選定した理由		がん検診受診率を増加させることで、市民の健康の保持増進を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		受診者数（2年に1回の検診は昨年度受診者数+今年度受診者数）／対象者数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	実施医療機関数	カ所	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	735	735	735	
			実績値	735	735		
達成率	100%	100%					
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		市内検診実施協力医療機関数(5がんの延べ医療機関数)					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	がん検診（本庁）	事業番号	011-183
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費（a）	777,549	927,410	868,464	852,024	965,506
13 財源内訳					
国支出金	2,300	3,127	1,090	415	463
府支出金			0		0
市債			0		0
その他（堺市民健康生きがいづくり基金等）		25,000	27,200	2,200	27,200
受益者負担金（使用料、手数料等）			0		0
一般財源	775,249	899,283	840,174	849,409	937,843
14 人件費（b）	17,690	17,690	17,690	17,690	17,670
15 年間経費（c）=(a)+(b)	795,239	945,100	886,154	869,714	983,176

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
報酬、職員手当	R4 決算	4,107	3,692	がん検診委託料	R4 決算	763,648	761,448
	R5 予算	2,214	1,814		R5 予算	866,581	839,381
報償費	R4 決算	275	275	読影センター委託料	R4 決算	67,653	67,653
	R5 予算	363	363		R5 予算	72,608	72,608
旅費	R4 決算	428	428	委託料	R4 決算	9,957	9,957
	R5 予算	325	262		R5 予算	14,970	14,970
需用費	R4 決算	3,238	3,238		R4 決算		
	R5 予算	3,796	3,796		R5 予算		
役務費	R4 決算	2,718	2,718		R4 決算		
	R5 予算	4,649	4,649		R5 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① がん検診受診者数（胃・肺・大腸・子宮・乳）	人	122,362	116,734
② 上記①にかかる年間経費	千円	929,711	869,644
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,598	7,450
備考（算出についての説明等）	R3年度は備品購入費除く（毎年かかる経費ではないため）		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年の受診者数（5がん合計128,236人）、受診率（5がん平均15.5%）には戻っていない状況であるが、令和3年度以降受診率は回復傾向にある。
がん検診無償化や勧奨はがき、SMS（ショートメッセージサービス）による受診勧奨、啓発等により、事業の目的は達成している。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 がん検診の無償化、受診勧奨や啓発等を実施し、市民が定期的ながん検診を受診することで、がんの早期発見、早期治療につなげることが可能となり、市民の健康寿命の延伸に一定寄与していると考えます。
令和5年度も引き続き自己負担金無償化を延長し、無償化を含めたがん検診の効果検証を行う。
効果検証に基づき、がん検診においてより精度の高い検診の実施及び市民の利便性向上などに向けた検討を図る。
また、SNS（Twitterなど）やポータルサイト等を活用した周知啓発活動や様々な手法を用いた受診勧奨の実施などにより、がん検診受診率の向上に向けた取組を進める。